

安全の誓い

宮城県内における労働災害発生状況から見ると、全産業に対する建設業の死亡災害割合は毎年高い発生率を占めています。

このような現状の中で、仙台建設業協会としては労働災害を少しでも減少させるため、安全大会・定期会議を始め、安全パトロールの強化、安全研修会・講習会を実施することにより、徹底した安全対策に努力しております。

本年8月末現在の仙台労働基準監督署管内における建設業労働災害発生状況は79件と前年同期より17件多くなっているところであります。

今後は事故ゼロとなるよう、業界をあげてより一層努力してまいります。

全国労働衛生週間のスローガン「向き合おう！ ころとからだの健康管理」並びに、全国建設業労働災害防止大会スローガンである「仲間の命を守るため 小さな危険も見逃さない 安全確保に妥協なし」を達成すべく、邁進いたします。

また、本日の安全大会を契機に、労働災害防止の基本に立ちかえり、三大災害である

①墜落・転落災害 ②建設機械・クレーン等災害 ③倒壊・崩壊災害

の防止に加えて、交通災害の防止にも力を入れてまいります。

さらに、本年は、新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大防止徹底のためのスローガン「うつらぬうつさぬルールとともに みんなで守る健康職場」を達成すべく、仙台建設業協会会員全員で、労働者の健康保持・増進等の重要性についてさらに認識を深め、心身ともに健康で、誰もが安心して働ける快適な職場づくりと、「労働災害ゼロ」を目指して努力することを誓います。

令和3年10月4日

一般社団法人 仙台建設業協会